

公民科ご担当先生

第一学習社編集部

**令和5年度用 高等学校教科書**  
**「高等学校 公共」(公共 710)**  
**訂正内容のお知らせ**

平素より弊社発行教科書には格別のご愛顧を賜り、深く感謝いたしております。

現在ご使用いただいている弊社発行の「高等学校 公共」教科書(公共 710)につきまして、以下の誤りが判明しております。本書を使用してご指導にあたっておられる先生をはじめ、学習されておられる生徒の皆さんに大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

先般、文部科学省に申請し、承認を得ましたので、令和6年度版において下記のとおり訂正いたします。ご指導に際しましては、よろしくご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

■訂正内容

ページ	訂正箇所	原文	訂正後
13	図 4		図中央の「アイデンティティ」と、「アイデンティティ」への矢印を削除
32	側注 1	人格は、たんに手段としてだけでなく、目的として扱われなければならない。	人格は、たんに手段としてではなく、目的として扱われなければならない。
34~35	23~7 行目	<u>前者の知性的徳の代表的徳である知恵によって、私たちは真理を観想(テオリア)することができるとした。観想的な生活こそが最高の幸福であり、最高善であると考えたのである。後者の倫理的徳の代表的徳である中庸は、知性的徳の一つである思慮に導かれて欲望を制御し、私たちが適切な行為に導くものである。私たちが徳を身につけ、適切な行為を選ぶためには、知だけではなく、中庸にかなった行為を選ぶことをくり返し習慣づけることが重要であると、アリストテレスは考えた。</u>	<u>知性的徳には知恵や思慮などが含まれ、倫理的徳には勇気や節制などが含まれる。そして、人間にとって最高の幸福を、理性に従って純粋に真理を求める観想(テオリア)の生活であるとした。また、アリストテレスは、知性的徳の一つである思慮に導かれて欲望を制御し、適切な中間としての中庸を選択することを重視した。中庸にかなった行為を選ぶことをくり返すことで、倫理的徳が身につくと、アリストテレスは考えたのである。</u>
199	14 行目	また、生産国民所得からは一国の産業構造や産業別の景気動向を、分配国民所得からは一国の雇用者所得や企業の利潤を、 <u>分配国民所得からは一国の消費や投資の動向を知る手がかりを得ることができる。</u>	また、生産国民所得からは一国の産業構造や産業別の景気動向を、分配国民所得からは一国の雇用者所得や企業の利潤を、 <u>支出国民所得からは一国の消費や投資の動向を知る手がかりを得ることができる。</u>